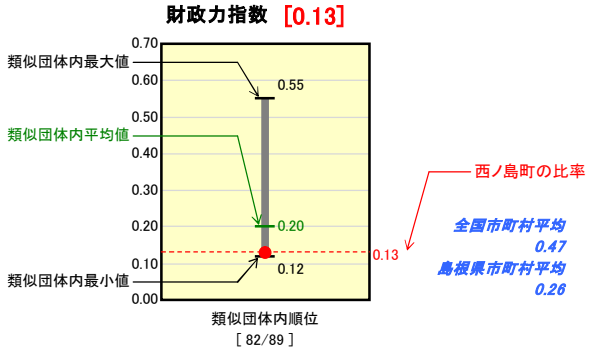


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

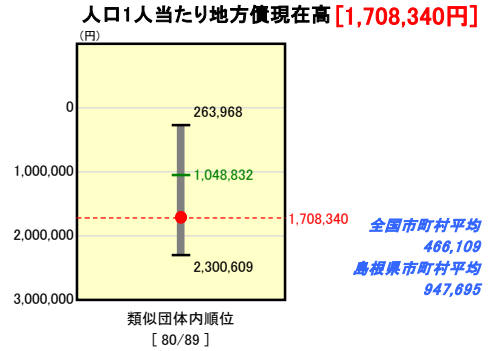
島根県 西ノ島町

人口	3,607人(H17.3.31現在)
面積	55.98 km ²
歳入総額	3,639,073 千円
歳出総額	3,632,065 千円
実質収支	7,008 千円

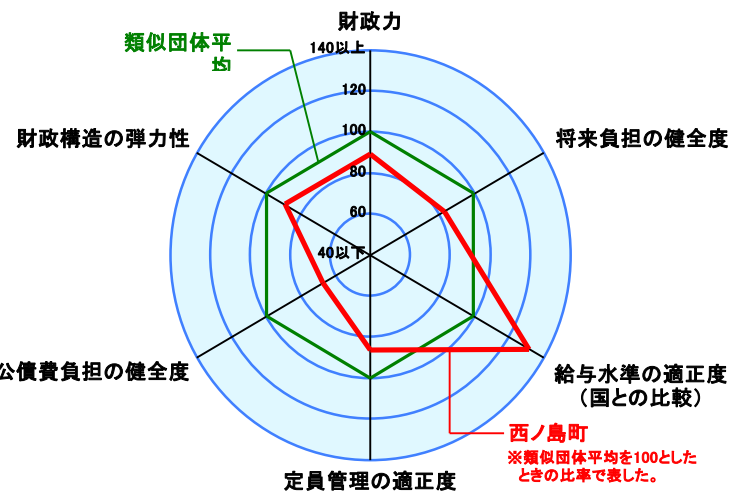
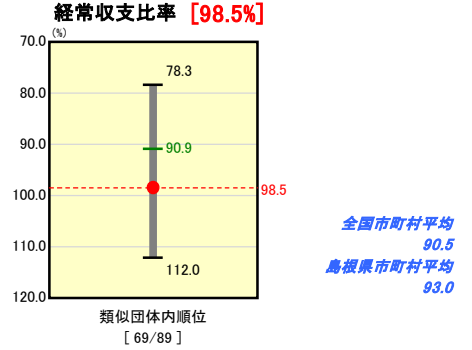
財政力



将来負担の健全度

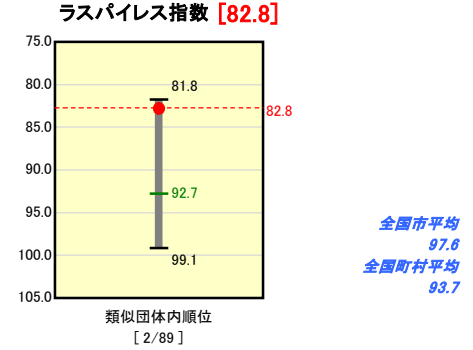


財政構造の弾力性

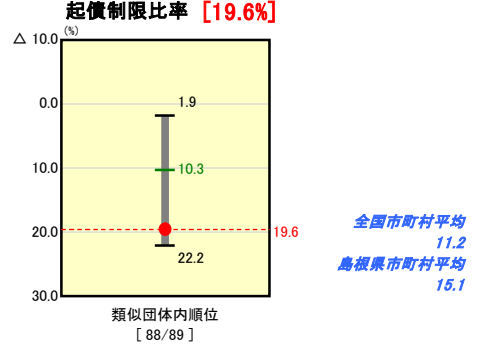


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

【財政力指数】
人口の減少・漁業不振による収支減等の影響により指数は極めて低い。人件費の削減、投資的経費の抑制等による歳出削減とあわせ、滞納額の圧縮など更なる徴収業務の強化に取組む。

【経常収支比率】
平成16年度に「第2次行財政改革大綱」を策定し、「早期退職者制度」の導入により職員の定数減と人件費の抑制に取組んでいる。また、平成初期における公共投資のために起こした多額の町債の償還もピークを過ぎ公債費は減少の傾向にある。比率は依然として類似団体を上回っているが、今後は公立保育所統合、指定管理者制度の導入、補助費等の見直しを推進し経常経費の節減に努める。

【起債制限比率】
比率は類似団体平均を大きく超えているものの上記で述べているとおり、町債償還のピークは過ぎており、今後は減少してゆく。近年においては投資的事業の縮減も進んでおり平成21年度には15%台まで下がる見込みである。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体を上回っている。要因は過去に積極的な事業展開の財源として大量に地方債を発行したことによるが、起債残高のピークは過ぎており、平成17年度に公債費負担適正化計画を策定しており、新規発行債の抑制により平成21年度には類似団体平均水準となるよう努める。

【ラスパイレス指数】
人件費カット(特別職20~25%、議会議員15%、一般職員10~14%)の実施により、ラスパイレス指数は類似団体92に対し、82.8と非常に低くなっている。

【人口1,000人当たり職員数】
人口1,000人当たり職員数は21.07人と類似団体を上回っているが、これは離島の宿命である。ごみ処理施設・尿処理施設等の一町単独処理、公立保育所運営の責務など、あらゆる面において自己完結せざるを得ない状況にある。今後は、職員適正化計画に基づき定年退職者の不補充、民間委託の推進により職員の適正化に努める。

定員管理の適正度

